

決算短信補足資料

(2020年3月期 第2四半期決算)

2019年10月28日

西日本旅客鉄道株式会社

1.決算ハイライト

(単位：億円)

	2019年3月期 2Q累計実績	2020年3月期 2Q累計実績	対前年		2019年3月期 通期実績	2020年3月期通期		対前年		対予想 増減
			増減	比率(%)		前回(7/30) 予想	今回(10/28) 予想	増減	比率(%)	
	A	B	B-A	B/A	C	D	E	E-C	E/C	E-D
【連結】										
営業収益	7,369	7,620	+250	103.4	15,293	15,575	15,700	+406	102.7	+125
営業利益	1,133	1,288	+155	113.7	1,969	1,980	2,020	+50	102.6	+40
経常利益	1,058	1,216	+158	114.9	1,833	1,845	1,895	+61	103.4	+50
親会社株主に帰属する 四半期(当期)純利益	564	804	+240	142.5	1,027	1,185	1,200	+172	116.8	+15
【単体】										
営業収益	4,846	5,044	+198	104.1	9,809	10,010	10,050	+240	102.5	+40
運輸収入	4,317	4,529	+212	104.9	8,734	8,950	8,990	+255	102.9	+40
営業費用	3,896	3,944	+47	101.2	8,301	8,495	8,495	+193	102.3	-
人件費	1,081	1,075	▲ 6	99.4	2,158	2,175	2,165	+6	100.3	▲ 10
物件費	1,834	1,848	+13	100.8	4,166	4,255	4,275	+108	102.6	+20
動力費	221	235	+13	106.3	452	475	465	+12	102.7	▲ 10
修繕費	632	642	+9	101.5	1,640	1,705	1,695	+54	103.3	▲ 10
業務費	979	970	▲ 9	99.0	2,073	2,075	2,115	+41	102.0	+40
減価償却費	643	669	+26	104.1	1,343	1,410	1,400	+56	104.2	▲ 10
営業利益	949	1,100	+150	115.9	1,507	1,515	1,555	+47	103.2	+40
経常利益	870	1,029	+158	118.2	1,364	1,375	1,425	+60	104.4	+50
四半期(当期)純利益	459	705	+245	153.5	806	950	965	+158	119.7	+15

2.単体損益計算書

(単位：億円)

	2019年3月期 2Q累計実績 A	2020年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	4,846	5,044	+198	104.1
運輸収入	4,317	4,529	+212	104.9
その他収入	528	514	▲ 14	97.3
営業費用	3,896	3,944	+47	101.2
人件費	1,081	1,075	▲ 6	99.4
物件費	1,834	1,848	+13	100.8
動力費	221	235	+13	106.3
修繕費	632	642	+9	101.5
業務費	979	970	▲ 9	99.0
線路使用料等	135	140	+5	103.8
租税公課	202	210	+8	104.2
減価償却費	643	669	+26	104.1
営業利益	949	1,100	+150	115.9
営業外損益	▲ 78	▲ 71	+7	90.0
営業外収益	24	27	+2	-
営業外費用	103	98	▲ 5	-
経常利益	870	1,029	+158	118.2
特別損益	▲ 221	▲ 16	+205	-
特別利益	88	33	▲ 55	-
特別損失	310	50	▲ 260	-
四半期純利益	459	705	+245	153.5

3.運輸収入の主な増減要因

(単位：億円)

		2020年3月期 2Q累計実績				
		運輸収入	対前年	主な増減要因		
新幹線	2,353	+81 (103.6%)	基礎トレンド(100.5%)		+12	
			特 殊 要 因	・インバウンド	+10	
				・曜日配列	+34	
				・災害反動	+18	
		等				
在 来 線	近畿圏	1,611	+89 (105.9%)	基礎トレンド(100.8%)		+11
				特 殊 要 因	・インバウンド	+7
					・曜日配列	+5
					・災害反動	+34
			等			
	その他	564	+41 (108.0%)	基礎トレンド(100.8%)		+3
				特 殊 要 因	・インバウンド	+1
					・曜日配列	+4
					・災害反動	+30
			等			
	在来線計		2,176	+130 (106.4%)		
	運輸収入計		4,529	+212 (104.9%)		

※荷物収入は金額些少のため省略

4.運輸収入と旅客輸送量の実績

運輸収入

(単位：億円)

輸送人キロ

(単位：百万人キロ)

	2Q累計実績 (4/1~9/30)			2Q実績 (7/1~9/30)			2Q累計実績 (4/1~9/30)			2Q実績 (7/1~9/30)		
	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年	2019年 3月期	2020年 3月期	対前年
全社計	4,317	4,529	+212 104.9%	2,179	2,296	+116 105.4%	29,742	30,984	+1,241 104.2%	14,992	15,824	+832 105.6%
新幹線	2,272	2,353	+81 103.6%	1,175	1,203	+28 102.4%	10,548	10,976	+427 104.1%	5,472	5,630	+157 102.9%
定期	56	57	+1 102.2%	28	28	+0 102.4%	447	468	+21 104.7%	222	240	+18 108.2%
定期外	2,215	2,296	+80 103.6%	1,146	1,174	+27 102.4%	10,101	10,507	+406 104.0%	5,250	5,390	+139 102.7%
在来線	2,045	2,176	+130 106.4%	1,004	1,093	+88 108.8%	19,194	20,008	+814 104.2%	9,519	10,194	+674 107.1%
定期	720	720	▲0 99.9%	356	360	+3 100.9%	11,751	12,037	+285 102.4%	5,753	6,099	+345 106.0%
定期外	1,324	1,455	+131 109.9%	648	733	+85 113.1%	7,442	7,971	+528 107.1%	3,765	4,094	+329 108.7%
近畿圏	1,522	1,611	+89 105.9%	746	802	+55 107.4%	15,079	15,642	+562 103.7%	7,468	7,917	+448 106.0%
定期	594	594	▲0 100.0%	294	296	+1 100.7%	9,661	9,891	+229 102.4%	4,748	5,011	+263 105.6%
定期外	927	1,017	+89 109.6%	452	505	+53 111.8%	5,418	5,750	+332 106.1%	2,720	2,905	+184 106.8%
その他	522	564	+41 108.0%	258	290	+32 112.8%	4,114	4,366	+252 106.1%	2,050	2,276	+226 111.0%
定期	126	126	▲0 99.7%	61	63	+1 102.0%	2,089	2,145	+55 102.7%	1,005	1,087	+81 108.1%
定期外	396	438	+42 110.6%	196	227	+31 116.1%	2,024	2,221	+196 109.7%	1,044	1,188	+144 113.8%

5.単体営業費用の主な増減要因

(単位：億円)

科目	2020年3月期 2Q累計実績		
		対前年	主な増減要因
人件費	1,075	▲ 6 (99.4%)	・超勤手当の減、単価減 等
動力費	235	+13 (106.3%)	・災害反動増、燃料費調整額増 等
修繕費	642	+9 (101.5%)	・除却費増 等
業務費	970	▲ 9 (99.0%)	・豪雨バス代行反動減 等
線路使用料等	140	+5 (103.8%)	・おおさか東線 等
租税公課	210	+8 (104.2%)	
減価償却費	669	+26 (104.1%)	・19.3期新規稼働資産の平年度化 等
営業費用計	3,944	+47 (101.2%)	

6.連結損益計算書

(単位：億円)

	2019年3月期 2Q累計実績 A	2020年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益	7,369	7,620	+250	103.4
営業費用	6,236	6,331	+94	101.5
営業利益	1,133	1,288	+155	113.7
営業外損益	▲ 74	▲ 72	+2	96.7
営業外収益	33	29	▲ 3	-
営業外費用	108	102	▲ 6	-
経常利益	1,058	1,216	+158	114.9
特別損益	▲ 227	▲ 24	+203	-
特別利益	92	39	▲ 52	-
特別損失	319	63	▲ 256	-
親会社株主に帰属する 四半期純利益	564	804	+240	142.5
四半期包括利益	584	816	+231	139.6

7.セグメント情報

(単位：億円)

	2019年3月期 2Q累計実績 A	2020年3月期 2Q累計実績 B	対前年	
			増減 B-A	比率(%) B/A
営業収益 ^{*1}	7,369	7,620	+250	103.4
運輸業	4,713	4,910	+196	104.2
流通業	1,196	1,165	▲ 30	97.5
物販・飲食	838	804	▲ 34	95.9
【宿泊特化型ホテル】(再掲) ^{*2}	【62】	【76】	【+13】	【122.1】
百貨店	315	318	+3	101.1
不動産業	692	740	+48	107.1
ショッピングセンター	300	308	+8	102.7
不動産賃貸・販売	381	423	+41	110.9
【不動産販売】(再掲)	【159】	【182】	【+23】	【114.5】
その他	768	803	+35	104.6
ホテル	165	194	+28	117.3
旅行	184	198	+13	107.4
営業利益 ^{*1}	1,133	1,288	+155	113.7
運輸業	878	1,031	+153	117.4
流通業	29	31	+1	105.1
物販・飲食	26	26	▲ 0	99.5
百貨店	1	1	+0	109.1
不動産業	182	191	+8	104.9
ショッピングセンター	47	45	▲ 2	94.9
不動産賃貸・販売	106	106	+0	100.4
その他	29	23	▲ 5	79.5
ホテル	0	▲ 1	▲ 1	—
旅行	▲ 6	0	+7	—

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

8.各セグメントの主な増減要因

(単位：億円)

			2020年3月期 2Q累計実績			
			対前年		主な増減要因	
			増減	比率(%)		
流通業	物販・飲食	営業収益	804	▲ 34	95.9	・駅ナカテナントとの契約方式変更に伴う収益計上方法の変更 等
		営業利益	26	▲ 0	99.5	
	百貨店	営業収益	318	+3	101.1	
		営業利益	1	+0	109.1	
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	308	+8	102.7	・京都リニューアル開業平年度化 等
		営業利益	45	▲ 2	94.9	
	不動産賃貸・販売	営業収益	423	+41	110.9	・販売戸数増 等
		営業利益	106	+0	100.4	
その他	ホテル	営業収益	194	+28	117.3	・ヴィスキオ京都新規開業、奈良ホテル新規連結 等
		営業利益	▲ 1	▲ 1	-	
	旅行	営業収益	198	+13	107.4	・GW好調 等
		営業利益	0	+7	-	

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

9.連結財政状況およびキャッシュフロー計算書

(単位：億円)

	2019年3月期 期末 A	2020年3月期 2Q期末 B	増減 B-A
資産	32,375	32,135	▲240
負債	20,577	19,775	▲802
純資産	11,798	12,359	+561
長期債務残高	10,640	10,334	▲305
【長期債務平均金利 (%)】	【1.81】	【1.80】	【▲0.01】
新幹線債務	1,029	1,024	▲4
【新幹線債務平均金利 (%)】	【6.55】	【6.55】	【-】
社債	5,699	5,549	▲149
【社債平均金利 (%)】	【1.51】	【1.49】	【▲0.02】
自己資本比率 (%)	33.3	35.3	+2.0
1株当たり純資産 (円)	5,612.63	5,929.53	+316.90

	2019年3月期 2Q累計実績 A	2020年3月期 2Q累計実績 B	対前年増減 B-A
営業活動によるキャッシュフロー	935	1,078	+142
投資活動によるキャッシュフロー	▲810	▲933	▲123
フリーキャッシュフロー	125	144	+19
財務活動によるキャッシュフロー	212	▲565	▲778
現金及び現金同等物の増減	337	▲427	▲765
現金及び現金同等物の期末残高	1,352	937	▲414

10.単体業績予想

(単位：億円)

	2019年3月期 通期実績 A	2020年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/28) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	9,809	10,010	10,050	+240	102.5	+40
運輸収入	8,734	8,950	8,990	+255	102.9	+40
その他収入	1,074	1,060	1,060	▲ 14	98.7	-
営業費用	8,301	8,495	8,495	+193	102.3	-
人件費	2,158	2,175	2,165	+6	100.3	▲ 10
物件費	4,166	4,255	4,275	+108	102.6	+20
動力費	452	475	465	+12	102.7	▲ 10
修繕費	1,640	1,705	1,695	+54	103.3	▲ 10
業務費	2,073	2,075	2,115	+41	102.0	+40
線路使用料等	272	285	285	+12	104.6	-
租税公課	360	370	370	+9	102.6	-
減価償却費	1,343	1,410	1,400	+56	104.2	▲ 10
営業利益	1,507	1,515	1,555	+47	103.2	+40
営業外損益	▲ 142	▲ 140	▲ 130	+12	91.3	+10
営業外収益	75	70	75	▲ 0	-	+5
営業外費用	217	210	205	▲ 12	-	▲ 5
経常利益	1,364	1,375	1,425	+60	104.4	+50
特別損益	▲ 206	▲ 15	▲ 45	+161	-	▲ 30
特別利益	276	-	-	-	-	-
特別損失	482	-	-	-	-	-
当期純利益	806	950	965	+158	119.7	+15

11.運輸収入の見通し

(単位：億円)

		2020年3月期 通期見通し					
		対前年	主な増減要因		対前回		
新幹線	4,669	+98 (102.2%)	基礎トレンド(100.5%)		+22	+2	
			特殊 要因	・インバウンド	+22		
				・曜日配列	+39		
				・災害反動	+18		
				・うるう年	+10		
				・台風19号	▲ 24		
等							
在 来 線	近畿圏	+112 (103.7%)	基礎トレンド(100.3%)		+9	+26	
			特殊 要因	・インバウンド	+20		
				・曜日配列	+6		
				・災害反動	+34		
				・うるう年	+4		
				・台風19号	▲ 4		
	等						
	その他	1,125	+43 (104.0%)	基礎トレンド(100.1%)		+1	+10
				特殊 要因	・インバウンド	+2	
					・曜日配列	+4	
					・災害反動	+31	
					・うるう年	+2	
					・台風19号	▲ 0	
	等						
	在来線計		4,320	+156 (103.8%)			+37
運輸収入計		8,990	+255 (102.9%)			+40	

※荷物収入は金額些少のため省略

12.単体営業費用の見通し

(単位：億円)

	2020年3月期 通期見通し			
		対前年	主な増減要因	対前回
人件費	2,165	+6 (100.3%)	・シニア社員・契約社員等待遇改善 等	▲ 10
動力費	465	+12 (102.7%)	・災害反動増 等	▲ 10
修繕費	1,695	+54 (103.3%)	・定期的な検査・修繕の波動増 等	▲ 10
業務費	2,115	+41 (102.0%)	・システム関連経費増、調査費増 等	+40
線路使用料等	285	+12 (104.6%)	・おおさか東線 等	—
租税公課	370	+9 (102.6%)		—
減価償却費	1,400	+56 (104.2%)	・19.3期新規稼働資産の平年度化 等	▲ 10
営業費用計	8,495	+193 (102.3%)		—

13.連結業績予想

(単位：億円)

	2019年3月期 通期実績 A	2020年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/28) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益	15,293	15,575	15,700	+406	102.7	+125
営業費用	13,323	13,595	13,680	+356	102.7	+85
営業利益	1,969	1,980	2,020	+50	102.6	+40
営業外損益	▲ 136	▲ 135	▲ 125	+11	91.8	+10
営業外収益	94	89	94	▲ 0	-	+5
営業外費用	230	224	219	▲ 11	-	▲ 5
経常利益	1,833	1,845	1,895	+61	103.4	+50
特別損益	▲ 261	▲ 60	▲ 90	+171	-	▲ 30
特別利益	290	-	-	-	-	-
特別損失	552	-	-	-	-	-
親会社株主に帰属する 当期純利益	1,027	1,185	1,200	+172	116.8	+15
1株当たり当期純利益 (円)	533.31	616.06	626.82	-	-	-

14.連結業績予想（セグメント別）

（単位：億円）

	2019年3月期 通期実績 A	2020年3月期通期		対前年		対予想 増減 C-B
		前回(7/30) 予想 B	今回(10/28) 予想 C	増減 C-A	比率(%) C/A	
営業収益 ^{*1}	15,293	15,575	15,700	+406	102.7	+125
運輸業	9,539	9,742	9,782	+242	102.5	+40
流通業	2,455	2,377	2,377	▲ 78	96.8	-
物販・飲食	1,700	1,560	1,590	▲ 110	93.5	+30
【宿泊特化型ホテル】（再掲） ^{*2}	【131】	【166】	【166】	【+35】	【126.7】	【-】
百貨店	671	725	695	+23	103.6	▲ 30
不動産業	1,485	1,623	1,643	+157	110.6	+20
ショッピングセンター	615	624	624	+8	101.3	-
不動産賃貸・販売	849	979	999	+149	117.6	+20
【不動産販売】（再掲）	【394】	【505】	【525】	【+131】	【133.2】	【+20】
その他	1,813	1,833	1,898	+84	104.6	+65
ホテル	356	391	411	+54	115.3	+20
旅行	405	412	422	+16	104.1	+10
営業利益 ^{*1}	1,969	1,980	2,020	+50	102.6	+40
運輸業	1,362	1,367	1,407	+44	103.2	+40
流通業	61	64	64	+2	104.2	-
物販・飲食	49	50	50	+0	101.2	-
百貨店	10	11	11	+0	107.4	-
不動産業	356	363	363	+6	101.7	-
ショッピングセンター	96	82	82	▲ 14	85.0	-
不動産賃貸・販売	182	189	189	+6	103.6	-
その他	212	216	216	+3	101.5	-
ホテル	10	11	11	+0	102.4	-
旅行	2	5	5	+2	227.8	-

^{*1} 各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

^{*2} 宿泊特化型ホテル「ヴィアイン」の合計値です。ただし、下関店（非連結）、浅草店（その他業）、広島銀山町店（その他業）は除きます。

15.各セグメントの見通し

(単位：億円)

			2020年3月期 通期見通し				
			対前年		主な増減要因	対前回	
			増減	比率(%)			
流通業	物販・飲食	営業収益	1,590	▲ 110	93.5	・駅ナカテナントとの契約方式変更に伴う収益計上方法の変更 等	+30
		営業利益	50	+0	101.2		-
	百貨店	営業収益	695	+23	103.6	・リニューアル開業平年度化 等	▲ 30
		営業利益	11	+0	107.4		-
不動産業	ショッピングセンター	営業収益	624	+8	101.3	・京都リニューアル開業平年度化 等	-
		営業利益	82	▲ 14	85.0	・岡山駅ナカリニューアル支障、芦屋リニューアル休業 等	-
	不動産賃貸・販売	営業収益	999	+149	117.6	・販売戸数増 等	+20
		営業利益	189	+6	103.6		-
その他	ホテル	営業収益	411	+54	115.3	・ヴィスキオ京都新規開業、奈良ホテル新規連結 等	+20
		営業利益	11	+0	102.4		-
	旅行	営業収益	422	+16	104.1	・GW好調 等	+10
		営業利益	5	+2	227.8		-

※各セグメントの内訳は、主な子会社の合計値であり、セグメント計と一致しません。

16. 諸元表

(単位：人、億円)

	2019年3月期 2Q累計実績	2020年3月期 2Q累計実績	2019年3月期 通期実績	2020年3月期 通期予想(10/28)
連結ROA (%)	3.7	4.0	6.2	6.2
連結ROE (%)	5.4	7.3	9.8	10.7
連結EBITDA*	1,920	2,119	3,613	3,742
連結減価償却費	781	824	1,631	1,710
連結設備投資 (自己資金)	794	770	2,453	2,610
単体設備投資 (自己資金)	604	483	1,909	1,920
安全関連投資	384	300	1,252	1,200
1株当たり配当金 (円)	87.5	95.0	175	190

	2019年3月期 2Q累計実績		2020年3月期 2Q累計実績		2019年3月期 通期実績		2020年3月期 通期予想(10/28)	
	連結	単体	連結	単体	連結	単体	連結	単体
期末従業員数 (就業人員)	48,219	24,976	48,596	24,526	47,842	24,866	-	-
金融収支	▲ 91	▲ 81	▲ 93	▲ 75	▲ 188	▲ 177	▲ 186	▲ 170
受取利息・配当金	7	18	3	21	11	22	10	26
支払利息	99	99	97	97	200	200	196	196

* EBITDA = 営業利益 + 減価償却費 + のれん償却額

将来の見通しに関する注意事項

- 本スライドは、JR西日本の事業、産業及び世界の資本市場についてのJR西日本の現在の予定、推定、見込み又は予想に基づいた将来の展望についても言及しています。
- これらの将来の展望に関する表明は、さまざまなリスクや不確かさがつきまとっています。通常、このような将来への展望に関する表明は、「かもしれない」、「でしょう」、「予定する」、「予想する」、「見積もる」、「計画する」、又はこれらに類似する将来のことを表す表現で表わされています。これらの表明は、将来への予定について審議し、方策を確認し、運営実績やJR西日本の財務状況についての予想を含み、又はその他の将来の展望について述べています。
- 既に知られた若しくははまだ知られていないリスク、不確かさその他の要因が、かかる将来の展望に対する表明に含まれる事柄とも大いに異なる現実の結果を引き起こさないとも限りません。JR西日本は、この将来の展望に対する表明に示された予想が結果的に正しいと約束することはできません。JR西日本の実際の結果は、これら展望と著しく異なるか、さらに悪いこともありえます。
- 実際の結果を予想と大いに異なるものとしうる重要なリスク及び要因には、以下の項目が含まれますが、それに限られるわけではありません。
 - 財産若しくは人身の損害に関する費用、責任、収入減、若しくは悪い評判
 - 経済の悪化、デフレ及び人口の減少
 - 日本の法律、規則及び政府の方針の不利益となる変更
 - 旅客鉄道会社及び航空会社等の競合企業が採用するサービスの改善、価格の引下げ及びその他の戦略
 - 地震及びその他の自然災害のリスク、及び情報通信システムの不具合による、鉄道その他業務運営の阻害
- 本スライドに掲げられたすべての将来の展望に関する表明は、2019年10月28日現在においてJR西日本に利用可能な情報に基づいて、2019年10月28日現在においてなされたものであり、JR西日本は、将来の出来事や状況を反映して、将来の展望に関するいかなる表明の記載をも更新し、変更するものではありません。
- なお、2005年4月25日に発生させた福知山線列車事故に関する今後の補償費用等については、現時点で金額等を合理的に見積もることが困難なことから、本スライドの見通しには含まれておりません。

当資料は、弊社ホームページでご覧いただけます。

JR西日本ホームページ「IR情報」 <https://www.westjr.co.jp/company/ir/>